

# 宿題委員会

つりて

本年度の宿題「農地改革の村落部会に  
及ぼした影響」を、とう具体的に取り扱  
て行くかたのいて、宿題委員会は、前後  
二回論議してまいりました。その論議は、会  
員の御意見を中心に、宿題委員がとりま  
との後を導くということを基本としてま  
きました。その間の様子も、この「研究  
通信」にできるだけ詳細に御報告するこ  
とに思惟いたしました。これらの裏にの  
いては、色々と感にみたないことはかり  
不遜を致し、病念にも思っています。が  
前号までにはせました。ようは宿題委員  
の賛成とすす浮び上りました。しかし  
ながら、報告に報告したものは飯果尼と  
は考えていませんし、もちろん宿題委員  
として決定したとは考えておりません。  
さらに委員各位から御意見をいただきました  
あるいは委員会を廻し合ったものとはか  
なりちがう考えを具体的に御意見としてお  
寄せ願ひ、その上で宿題委員会として決

定したいと考えています。こうしたこと  
から、是非委員各位の御意見のない御意見を  
を遠慮に本部宛寄せられることをお願ひ  
致したいのです。ところで、夏の休暇を  
取つた昨今、なるべく早く宿題の取扱  
ひ方を決定する必要が有ります。したが  
つて、来る六月二十九日の月曜日午四  
時から東大赤門農学士会館談話室におい  
て宿題委員会と年報委員会と一語に行い  
この時にとめたいと思つています。そ  
してこの委員会にはいろいろ御意見を  
つて居られる委員各位に多数御出席いた  
さき、そこで活発に討論したいと思います。  
宿題を中心とした共同の歩みがこの研究  
会の背骨であることはいくらでもよいこ  
とでしよう。それには、委員全員の熱心  
と討論の上で醸成されなければならぬ  
と考えます。来る六月二十九日の委員会  
には、御意見を御持ちの方は全部、とく  
にそつてない方でも御都合のよく方は  
非御出席下さることを御望致します。尚  
宿題の他に御られる方は、廿九日に間に  
合ふ様に、本部宿題委員宛、御意見を  
お寄せ願ひたいと思つてます。